

被災地のお母ちゃんたちに、手仕事を。

園児エプロンプロジェクト

第5弾 販売予約受付開始！



南三陸町歌津の女性達が、園児用エプロンを縫っています。

津波で多くのものを失ったお母ちゃん達。震災前までやっていたミシンで何かを作り、自立したいと、強い意思と笑顔で頑張っておられます。そこで、保育園などで使う園児用エプロンを縫って貰っています。

(販売利益全額を縫子料としてお渡ししています。)

タオルは、今治タオルなど安心の日本製を使用しております。

1セット (園児用エプロン 2枚組) 1000円 (税込+送料別)

- ◇ 申し込み方法：メールにて、件名に「園児用エプロン希望」と明記ください。本文に「希望セット数/送付先住所/氏名」を書いて、下記アドレスまでメールでお申し込みください。確認後、返信メールをお送りいたします。

enjiapron@gmail.com

申し込み締め切り日：2013年7月末日まで。

◇今回の提案についてご支援のお願い◇

私は実家が石巻で、姪（小6年生）を3月11日の津波で亡くしました。実家も被災し、仙台にいながら何も出来ない自分に歯痒さを感じていた時、今回ご縁があってこのプロジェクトを発案いたしました。仙台市青葉保育園さまのご協力、そして、歌津地区の支援団体「funagari プロジェクト」様を通じて、被災地での手仕事支援として、このプロジェクトが実現いたしました。忙しい園児ママは助かるし、被災地のお母ちゃんたちの副収入になる・・・双方が幸せになれる新しい支援のカタチとして、全国にその輪が広がっています。みなさま宜しく願いいたします。

園児エプロンプロジェクト 代表 大坂 裕子。